

小金井市長選挙 公開アンケート<3人の立候補予定者に聞きました> 都市計画道路・小金井3・4・1号線と3・4・11号線をどう考える

都市計画道路を考える小金井市民の会は、12月1日告示・12月8日投票で行われる小金井市長選にあたって、立候補を表明された3人の方に、公開アンケートをお願いしました。回答を寄せられた方の回答全文をそのまま掲載します。

質問 1

都市計画道路小金井3・4・1号線と小金井3・4・11号線外について、東京都は平成28年から10年以内に事業化を行うと決定しましたが、これについて、どのようにお考えでしょうか。

かわの律子	東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)に基づき進められているものと理解しています。
西岡真一郎	<p>両路線に対する考え方につきましては、10月10日(木)に開催された東京都との意見交換の場でも小池都知事に直接お伝えしております。また、考え方をまとめた要望書を作成し、市長名で東京都知事宛に10月31日(木)に提出いたしました。</p> <p>2つの優先整備路線につきましては、地元の市民や環境への配慮などを考慮すると現時点では賛同できる状況になく、事業者である東京都と地元本市との関係においても、調整がつかない状況では強引に事業化を進めることはできないのではないかと、申し上げてきたところです。</p> <p>はげ(国分寺崖線)や野川は、本市にとって最も大切にしている生態系の豊かな自然だと認識しております。この自然環境への影響を懸念する声も多く、都市計画道路3・4・11号線については建設の是非も含め、市民の理解の進捗が十分であるとは言えない状況であり、現時点では事業化に賛同いたしかねます。そのためにも東京都に対して、引き続き丁寧な御対応をお願いするとともに、私、小金井市長が了解できない状況下での事業化は進めないよう求めました。</p> <p>都市計画3・4・1号線につきましても都市計画マスタープランの「一定区間での路線変更などの可能性について検討します」との立場を尊重し、市長としてその見直しを求めました。</p> <p>なお、環境への配慮など、市民の理解を深めるための市民との意見交換の機会を、是非継続していただくとともに、その運営方法について、これまで以上に工夫していただくよう強く要望するとともに、2つの路線につきましては、是非、小池都知事には現場にお越しいただき、現地をご覧いただくことについても、改めて要望いたしました。</p>
森戸よう子	<p>2つの路線の事業化に反対し、東京都に中止を求めます。</p> <p>都市計画道路小金井3・4・1号線と3・4・11号線は、共に道路のない住宅密集地と国分寺崖線“はげ”と野川を分断し、さらに、3・4・11号線は、武蔵野公園を分断します。</p> <p>小金井市は、北に小金井公園と玉川上水、南に武蔵野公園、野川公園と野川を備えた自然豊かな町として、小金井市民の宝となっており、市民の憩いの場であると共に、都内各地から訪れる素敵な町です。</p> <p>小金井のはげ森と武蔵野公園の周辺には、野生植物が400種を超え、多くの絶滅危惧種が生存する貴重な生態系を持つ地域であり、これを破壊する道路計画は中止すべきものです。また、5丁目の狭い地域への道路計画は地域を分断することになります。さらに地権者の皆さんの生活環境が守れなくなります。</p> <p>その上、57年前に、旧都市計画法で決定したとされるこの計画は、法律で定める担当大臣の決裁も内閣の認可も得ない違法な決定であり、都内各地の裁判でこの違法性が争われていると聞いています。</p> <p>立ち退きを強制される住民にとっては、これまでの平穏な生活、近隣とのコミュニティを壊されることになります。</p> <p>半世紀以上、事業化していなかったについて、十分な検証が必要でした。これからは交通量が減っていくことが目に見えている今、この道路が必要かを話し合いの場を堅持していくよう求めます。</p>

質問 2

東京都は、抽選で選出した42人の小金井市民と8人の町会代表との3回の意見交換会を開催したが、意見交換の場とはならず、今年度中にオープンハウスを開催するとしていますが、このオープンハウスの開催について、いかがお考えでしょうか。

かわの律子	さまざまな意見をお聞きする場の一つととらえています。
-------	----------------------------

西岡真一郎	東京都より意見交換会を行わずオープンハウスへ移行するとの説明が行われたことは、極めて残念であると考え、オープンハウスと共に意見交換会も継続して開催するよう、東京都に要望しました。東京都の更なる丁寧な対応と工夫を求めた結果、オープンハウス型説明会に加え、意見交換会も開催される予定との回答を得ています。
森戸よう子	3回の意見交換会は、参加した市民から「なぜ、道路が必要か、その是非について意見交換をすることを要望」したにも拘わらず、東京都は、「事業ありき」の姿勢を崩さず、最後の意見交換会で、「今後はオープンハウスとする」と表明し、その準備を進めています。しかも、東京都が各地に開催しているオープンハウスは、意見を聴く場ではなく、東京都が計画を説明する場となっているだけです。このようなオープンハウスの開催は、事業化への既成事実を積み重ねるだけのものであり、同意できません。改めて、道路計画に必要性について意見交換を行う場を、東京都に要請します。

質問 3

東京都は、未整備の都市計画道路の在り方について検討を進めており、小金井市内の10本の未整備路線について、今後、整備の対象とすることとする方向ですが、これについて、いかがお考えでしょうか、

かわの律子	都市計画道路は交通渋滞を解消するなど「都市活力の強化」安全な避難路を始めとする「都市防災の強化」等様々な課題や目標を達成するための基盤整備であり、市内の未整備路線もその一環と理解しています。
西岡真一郎	都市計画道路は、長期的な視点で都市計画決定しており、鋭意その整備に取り組んでいるものの、計画決定から相当程度の時間を経ているものもあります。このため、東京都と特別区及び26市2町は、これまでも事業化計画を策定し、優先整備路線を選定する一方で、適宜、都市計画道路の見直しや建築制限の緩和を行ってきました。少子高齢化の進展など東京を取り巻く社会経済情勢や道路に対するニーズは、日々変化し、そして、多様化しています。このため、都市計画道路の検証を不断に行っていく必要があります。こうしたことから、「整備すべきものは整備し、見直すべきものは見直す」との基本的な考えに基づき、整備方針（第四次事業化計画）により、必要な都市計画道路の整備を着実に進める一方で、東京都と特別区及び26市2町は協働で、優先整備路線等を除く未着手の都市計画道路の検証を行い、年内を目途に「東京における都市計画道路の在り方に関する基本方針」を策定する予定であります。
森戸よう子	市内の10本の未整備の都市計画道路の多くは、計画された半世紀前とは異なり、住民が静かに暮らしている地域です。東京都と小金井市が、突然、住民にも、周辺の市民にも相談もなく、都市計画道路として「存続すべき」と結論を出そうとしていることを認めることはできません。一方、沿道の住民から整備の要望が出されている路線については、住民との話し合いを持って進めることを要望していきます。

質問 4

都市計画マスタープランの改訂に向けて、事業スケジュールが公表されましたが、現行のマスタープランでは、「3・4・11号線（連雀通り以南）は、整備済み・着手路線との連続性や駅周辺へのアクセス動線の確保を勘案して、東京都に対して整備推進を要望する」とありますが、次期マスタープランでは、この方針を堅持しますか、それとも変更する考えをお持ちですか。また、その理由をお聞かせください。

かわの律子	原則的に現行のマスタープランを維持しますが、時代の変化に対応し必要に応じて変更します。
西岡真一郎	都市計画マスタープランの改訂作業は、令和元年9月より準備を進めている状況であり、これから庁内検討委員会や策定委員会、市民の皆様の御意見等を踏まえて改訂作業に入っております。都市計画道路3・4・11号線については建設の是非も含め、市民の理解の進展が十分であるとは言えない状況であり、現時点では事業化に賛同いたしかねるという私の考えはお伝えしていく必要があると認識しています。
森戸よう子	現行の都市計画マスタープランの策定にあたっては、多くの市民には、「東京都に整備推進を要望する」ことが知られないままの決定となっています、3・4・11号線の今後の方向については、一旦白紙に戻し、地域住民、市民と意見交換しながら、対応します。